

第一回運営委員会議事録

開催日時 10月15日(木) 18時30分～19時30分

出席者	運営委員	ひよこ保育園	小田中 清子
		みどりの会	会長 福盛田 正樹
		副会長 三上 和人	
		副会長 佐藤 啓治	
		副会長 前屋舗 哲也	
	みどりの保育園	園長	高木 宏子
		主任保育士	小野 洋子
		事務長	高木 崇
		事務主任	前屋舗 由紀子
	進行	高木 崇	
	記録	前屋舗 由紀子	

次 第

1. 開会
2. 園長より(運営委員 小田中清子先生のご紹介)
3. 自己紹介
4. 議題
 - (1) 運営委員長選出
 - (2) 前期評価(成果と課題)
 - ①園経営、園運営について(要覧、園務分掌評価)
 - ②全体の保育について(行事評価、保育評価)
 - ③その他(苦情処理、ヒヤリハット・事故報告)
5. 後期にむけて
6. その他
7. 閉会

1. 開会

(事務長) 本来であれば運営委員会の委員長に進行していただくところではありますが、委員長選出がされておられませんので、今回は私、事務長の高木が進行を務めさせていただきます。まず初めに、園長先生よりお話ならびに運営委員の小田中先生の紹介をお願いします。

(園 長) 園長の高木でございます。本日はご多忙の中、本園の運営委員会に出席いただきありがとうございます。本園は株式会社の保育園なので、運営の方法も法人立と少し違います。株式会社ですと運営委員会という形となります。運営委員会の規定がお手元にあると思いますが、年2回以上開くことになっており、1回目が前期の報告、2回目は年度末にみなさんからご意見をいただくことを計画しております。

運営委員会規定第3条 運営委員の構成に『社会福祉事業に知識経験を有する方』とあり、今回ひよこ保育園の小田中先生が快く引き受けてくださいました。そして、本園を利用する保護者様ということで、PTA「みどりの会」会長さんと副会長さん3人、そして本園の園長ということで、私が入っての運営委員会となります。事務局ということで、主任保育士と事務長、議事録は事務主任が務めさせていただきます。

日頃より本園の運営に関して沢山のあたたかいご理解とご協力をいただき、本当に感謝しています。本日は本園初めての運営委員会でございます。後期の運営に活かしていきたいと思いますので、忌憚のないご意見をたくさんいただければと思います。

小田中先生に初めてお会いになる方もいらっしゃると思うので、ご紹介をさせていただきます。今回、本園の運営委員を引き受けていただきました、ひよこ保育園の小田中清子先生です。長年、公立保育園の園長先生をなさっていて、その後は花巻市の教育委員会にいらしていました。その時に、私がたくさんご指導をいただきました。今回もこのようにアドバイスをいただけるということで、大変嬉しく思っております。

今回、このようにみどりの会の会長さんと副会長さんにいらしていただき、1時間という限られた時間ではありますが、たくさんご意見いただければと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

(事 務 長) 続きまして自己紹介に移ります。お名前と、一言ご挨拶をお願いします。それでは、小田中先生よりお願いしたいと思います。

(小田中先生) 運営委員ということで仰せつかっております、ひよこ保育園の小田中清子と申します。宜しくお願いします。先程は身に余るご紹介をいただきましたが、ご指導というより、私も一緒に色んなことを学びながら、お伝え出来ることがあればお伝えし、みどりの保育園さんの発展のために出来ることをみなさんと一緒にできればと思い、お引き受けした次第です。どうぞ宜しくお願い致します。

(福盛田会長) みどりの会 会長の福盛田です。年長の子供がいる父親として、何か意見が言えることがあればと思います。宜しくお願いします。

(三上副会長) 5歳・4歳・3歳の子供がお世話になっております、副会長の三上です。新しい保育園ということで、今年の年長さんは1年だけの保育、4歳児は私の子供が1人だけですので、保育園での思い出を沢山作ってあげられたらと思っています。宜しくお願いします。

(佐藤副会長) 3歳児の父親で、佐藤啓治と申します。高木先生には花巻幼稚園で、長男と次男がお世話になりました。幼稚園ではなく保育園になりましたが、ご縁あって娘がお世話になっています。色々と意見を出せればと思っております。

(園長) 園長の高木と申します。皆さんにはたくさんあたたかいご理解とご協力をいただき、ここまで半年が過ぎました。コロナの関係で入園式も開園式も出来ず、どう進めていけばいいか悩んでいましたが、保護者さんがとてもあたたかく、夕涼み会は「記念にぜひやりましょう」と言ってくださり、本当に感激しました。私達は親御さんからパワーをいただき、かわいい子供たちのために頑張っていこうと思える夕涼み会でした。運動会も終わり、今度は発表会ですが、日々親御さんたちがあたたかく声をかけてくださり、私たちも丁寧に保育をしていかなければと思います。私はずっと幼稚園でしたので、保育園は初めてですが、うちの職員は幼稚園も保育園も経験している者がたくさんいるので、職員からたくさん学び、子供たちからも学びや感動をもらいながら進めているところです。宜しくお願いします。

(主任保育士) 主任保育士の小野です。新しい保育園ということで、日々保育士さんたちと保育を作っている段階です。親御さんに子どもたちの姿が可愛かったと言われると、我が子のように嬉しくなる日々です。子供たちの成長を、親御さんと一緒に見られるこの仕事に携われることがすごく嬉しく、今は日々勉強ですが、色々ご指導をいただきながら1年間頑張っていきたいと思っておりますので、今後も宜しくお願い致します。

(事務長) 事務長の高木崇です。保育の世界も初めてで、毎日勉強ではありますが、子供たちの表情を見ていると、どんどんしっかりしてくる子もいれば、まだまだパパママがいいという子もいて、先生たちがその子たちに合った教育をしているのを目の当たりにし、頑張らなければと気を引き締めながら1日1日を過ごしております。事務局長という役割ですが、実際は裏方の仕事も色々しております。初年度ではありますが、2年目、3年目に向かっていい園を作っていければと思いますので、色々な意見をいただければと思います。宜しくお願いします。

(事務主任) 事務主任を務めています、前屋舗です。日々子どもたちの元気な笑顔に癒されて、あたたかい保護者の皆様に感謝をし、励まされております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

(前屋舗副会長) 前屋舗哲也です。遅くなりました。宜しくお願いします。

(事務長) それではみなさん揃いましたので議題に移ります。まず、運営委員長の選出に移らせていただきます。

(園 長) 運営委員長ですが、今回初めてなのですが、小田中先生に引き受けていただけないでしょうか。

(一 同) 宜しくお願いします。

(小田中先生) 私で宜しいのでしょうか。皆さん宜しくお願いします。

(事 務 長) 委員長の選出が終わりましたので、前期の評価(成果と課題)に移ります。まず園経営と園運営についてですが、園長先生からご説明差し上げます。

(園 長) 今回、要覧を新たに作りました。保護者の皆様には先にお配りしましたが、役員さんにも今回お配りしております。前回の要覧は、保育園が始まる前に作成したものでしたので、見直しをかけ、今現在うちの園らしい要覧を作ろうという事で9月末に作成いたしました。

とにかく心と体を沢山使って思い切り遊び、その中で色々な学びを引き出せるように私たちが指導を色々と考え、工夫していきましようというところで、一人一人の良さや可能性を引き出して自ら伸びようとする力を育みます、という園の理念にしました。

園の目標は「げんきな子」「やさしい子」「かんがえる子」です。これは、花巻市の目指す子ども像でもありまして、みどりの保育園もその3つの柱に致しました。先生方も、指導計画を練る時に「げんきな子」とはなんだろう、「やさしい子」「考える子」とはどんな子どもだろうと、イメージをたくさん出し合って指導を考えているところです。

うちの園の特色としては、ここに掲げている3つの前に「園児一人一人が主体的に遊び、生活する中で、自分らしく伸びていこうとする環境を保証します」「保護者の方々や地域の皆さんと連携を図りながら、地域に開かれた『子育て拠点』としての役割を担います」という2つを掲げながら、それをどのように作り上げていこうか模索中です。

1つ目の主体的に遊び生活するところは、先生達が今細やかに進めているところです。『豊かな遊び』の充実・推進、『幼児教育』の充実・推進。ここで言う幼児教育とは、0～2歳の学びを積み重ねて、3～5歳の学びに繋げていく、そして3～5歳の学びが小学校就学前の学びの基礎を培うことです。それをしっかりと指導計画の中に織り込み、「繋がりを重視した保育」を考えています。

もう一つが『食育』の充実・推進です。当園では栄養士が2人、調理員が1人おり、その調理員は野菜栽培が得意な方なので、園庭の畑で自分達が育てた野菜を自分達で収穫して、それを給食室に持って行き作ってもらうというサイクルを今十分に経験しています。「またこれが採れたよ」「こんなに採れたよ」「保育園で食べると美味しいね」「嫌いだったのに食べられるようになったね」というような、食べる喜びを育てています。

そのような特色のある保育園として、模索しながらですが、先生方が一生懸命やってくださっています。それをどのように評価したらいいかということで、ここで『みどりの保育園 園務分掌中間評価』という資料をご覧ください。職員一人一人が園務分掌の中で、

どういう視点で、どのように努力していこうかという目標を決め、私と面談をして指標を掲げ、9月末に中間評価をします。自分で前期はこのくらい頑張ったというのを紙面に明記して、みんなで認め合う会議をこれからしていこうと思っているところです。

個々の評価は、「園務」「教務」「研究」「生活」「保護者の子育て支援」の分野に分かれていて、組織的に評価をし、その課程を載せております。個人名は伏せておりますが、全員分を今回取って載せました。あとは学年毎のチームに分かれてのクラス毎の評価も載せています。

年度末に、総合的に今年度はこんなところを自分で頑張りました、来年度はこういう風にしたいというところを評価する過程の中で、それぞれの成果をみんなで認め合えるような雰囲気作りをしています。協働する喜びを味わえるような園の職員の雰囲気が、子供たちのパワーになっていくのではないかと考えております。このような評価をみなさんにお見せしましたので、どうぞ宜しくお願いします。

うちの園では研修だけではなく、園内での研究も進めております。全体の計画の中の研究計画のところに、今年度の研究主題「子どもが生き生きと遊び生活する環境を考えよう」とあります。うちの園は開園したばかりなので、環境も外の状況も何もないところから始まりました。園庭も一つ一つ先生方で吟味しながら、置き場所や立つ位置も色々考えている最中です。園庭に畑もたくさんありますし、園外にも畑がすぐ近くに 있습니다。そのような形で環境を充実していくことで、子どもたちが十分に遊び生活を練るという過程を研究しています。

(事務長) 続きまして「全体の保育について」に移ります。洋子先生、宜しくお願い致します。

(主任保育士) 保育についての評価ですが、全体の計画から各学年にねらいがあり、そのねらいを基に各学年のチームで指導計画を作成しています。年間・短期指導計画という形で作成し、子どものありのままの姿を捉え、環境をどうしていこうか、今何を大切にしていこうかということ、週に1回チームミーティングを開きながら、指導計画と照らし合わせて保育の評価を行っております。チャイルドケアシステムの短期指導計画入力ページに、1週間の指導計画と日々の評価を入力できる項目がありますので、担任が評価したものを、そのクラスに携わる担当保育士と園長や主任保育士が見て、「このような経験をしているんだ」「ここを改善したらどうだろうか」「次回はこういったことを議題に協議しよう」と毎週ミーティングを開いています。

全職員、チームで評価を行いながら保育を振り返ることで日々の改善につながっています。職員が入力した長期指導計画の評価を、私の方で紙面としてまだ残していないので、今まとめています。次回年度末には紙面として評価を出したいと考えています。

行事評価は、お花見遠足から始まり運動会までの評価を紙面の一番後ろに載せております。これは全職員、栄養士・調理員・看護師・事務員も皆で行事に向かい、気持ちを一つにして行事に取り組み、行事が終わったら「ここが良かった」「こうした方が良かった」

と評価したものを来年度につなげていくために、全職員で評価をしてもらっています。このような行事を経て、このようなことが見えてきた、来年はもっとより良い行事になるように、子供たちの思い出作りに向かっていけるように取り組んでいます。以上です。

(事務長) 「その他」に移ります。まずは苦情処理担当の、洋子先生お願いします。

(主任保育士) 本当に温かいご父兄で、苦情は今の時点では届いておりません。本当に温かく見守っていただいているんだと、日々感謝しています。

親御さんが色々な思いをもった時に、すぐ「先生」と声を掛けて下さりお話しができる、親御さんたちもそういう雰囲気を作って下さっているので、苦情という形に繋がる前に解消できているのかなと思います。

(事務長) 続いて、ヒヤリハット・事故報告は私の方からご説明差し上げます。

職員を対象としてヒヤリハット・事故報告の記録・提出をお願いしておりますが、現時点でヒヤリハット報告・事故報告は出てきておりません。先程、洋子先生の方からご説明差し上げましたが、週1回のクラスミーティングや学年ミーティング、園内研究という場で、色々な先生から「ここはこうした方が良くなるのでは」「ここは気を付けようね」と口頭での連絡・相談・報告は沢山あがっていますが、紙面として残すというのがこれからの課題になっています。

今月新しく2名の先生が仲間に入り、総勢26名となりました。その先生達にも、口頭で「ここはこういう事があったから気を付けてね」「こういう風に変えたよ」と、説明は常にさせていただいておりますが、今後や来年度以降の保育の質を上げるという意味でも、紙面として残すことが必要だと思っています。

当園ではチャイルドケアシステムを導入しており、そのシステム上でもヒヤリハット・事故報告のシステムが組み込まれておりますので、記録を残し、いつでも閲覧ができる、話し合いができる、議題としてもたせるという形を今後作っていきたいと考えています。

本日昼にも職員会議があり、その場でも話はさせていただきました。後期に向けて情報収集を進めていこうと考えておりますので、ご了承ください。その他の項目については以上になります。

では議題の前期評価(成果と課題)を一通りご説明差し上げました。以上3点のところでご質問ご意見ご指摘はございますか。

(園長) 折角なので、感想でも結構です。皆さんから一言ずついただければと思いますが、いかがでしょうか。

(前屋舗副会長) 中間評価資料を見やすく作っていただいておりますが、これはどこの保育園でもしてい

ることなんですか？

(園長) 園内の自己評価として、取り組み方はそれぞれだと思いますが、うちの園は一人一人の園務に向かって、自分で指標を掲げて自分で評価をするというやり方をしております。

(前屋舗副会長) 評価項目に園の色が出てくるということなんですね。ありがとうございます。

(福盛田会長) 苦情があるかと思ったのですが、無いと聞いて安心しました。きちんとしていただいているからなのかなと思いました。

(園長) 送迎の時に、お父さんお母さんがよく話しかけてくださるんです。私たちも出来るだけ自分の感覚だけではなく、ミーティングで話し合われたことをお伝えしたり、少し気になるお子さんがいた時には、気を付けてみんなで見ながら、「こんなに楽しそうでしたよ」「すごくいい顔をしていましたよ」というようなことを出来るだけお伝えしたくて、どの子もみんなで見ている、という雰囲気を作りたいと思っています。休憩時間中でも、そういう会話をなるべくみんなで作れるようにすると、違うクラスでも「あの子はこんな遊びをしていたね」「こういうのが好きだっけ」ということに繋がります。保育をしていると一部分しか見えていないので、そういう話がいっぱい出ると、色々な情報を得ながら次の日に関われるということにもなるので、お茶の時間というのを大事にしたいなと思います。お茶を飲みながら子供の話に話が弾んで熱くなるというのは、すごく大事ななと思っています。

(福盛田会長) うちの子供も、家で色んな先生の名前が出てくるのがすごくいいなと思っています。

(園長) 先日の役員会の時に、三上さんから「先生たちの顔写真が欲しい」と言って下さったので、すぐ作って貼り出したら、子供たちの方がすごく喜んでいました。「あ、〇〇先生だ!」「見て見て、〇〇先生がここにいる!」「明日この先生とこんな遊びをするんだ」など、すごく会話が弾みました。三上さんが言って下さって、これを作って良かったと思いました。ありがとうございます。

(佐藤副会長) ヒヤリハットの資料がないというのは、出ていないのか、それともただ文書化が出来ていないのですか？

(事務長) 文書化が出来ていません。園舎内の危険箇所を自分達で手入れしたり、足りないものを作ったり、私個人としても対応できるものに関しては、口頭であがった瞬間にすぐ取り掛かるようにしています。直ったもの、直っていないものというのを口頭で全て報告して、「ここは気を付けましょう」「ここはテープを貼っておきましょう」という対応策を話し合う場は持たれるのですが、文書化まで至っていません。

(佐藤副会長) ヒヤリハットはあるけれど、まだ事故には至っていないということですね。多少、ぶつ
けたりしてしまうことはあるとは思いますが。

(事務長) そうですね。

(佐藤副会長) ヒヤリハットの段階で防げているから、大きな事故にはなっていないということす
ね。大きな事故を防ぐのがヒヤリハットだと思うので。

(園長) 指導計画や日誌、クラスだよりも作ってとなると、ヒヤリハットはすぐ口頭で話して解
決してもらい、もうそれで済んでしまっている状況です。文書化して残していこうとは話
しているのですが、なかなか時間が見つけられないのが現状です。

(佐藤副会長) ここまでしっかりやっていると、そうなんだろうなと思います。

(園長) 初年度なので、話したことをこちらで入力するから、とにかく話してと今回職員会議で
伝えましたので、そうやってヒヤリハットを「みんなでこういうところに気を付けよう
ね」というような雰囲気を作っていきたいと思います。事故が起きたから書いてください
ではなく、皆で気を付けるために書こうねという方向で指導していますが、なかなか難し
いです。

(小田中先生) ヒヤリハットは安全点検の部分と、保育の中で起こることがあると思います。うちの園
は未満児なので、かみつきのあったり、言葉が出ないので引っ張ったりという事案が結構
出ています。先生方はシフトの関係もあるので、まず書いてもらう事が大切だと感じてい
ます。

安全に関しては、ここが危ない、ここがぶつかるからクッションを置くなどチェックさ
れてるんだなどお話を聞いて思いました。

皆さんこれだけチームミーティングをされているし、保育の中で起きる日常的なとこ
ろもチェックして、その時の場面がどうだったかというところを、休憩時間に保育につい
て語り合っているので色々な話が出ていると想像しています。それをその日の内に、誰が
どこにいたか、誰と向かい合っていたか、一旦確認し合う、そういったこともヒヤリハ
ットに載せて情報交換している内に、先生方の中でこういうところは避けよう、もっと話を
聞いてあげようという対応が段々落ち着いて出来るようになると思います。いつもある
ことだけど繰り返していること、これは良かったのではということを一言ずつ書いて回
すことも良いと思います。

皆さんヒヤリハットを書いてと言うと、うちの園でもなかなか出てきません。ヒヤリハ
ットを書いた紙を回して、意見のある人はそれに書いてもらい、綴っておくというのが大
事かなと思います。

苦情処理も、一生懸命保育しているところが保護者さんにも伝わっていると思うので、

全く無いとは思いますが、要望があった時や「これはどうなんですか」という質問、連絡帳に「ハブラシはどんなものがいいですか」と書いてきたりしたもの、そういうものどう答えたかをコピーして証拠に残すことが大事です。例えば、「白いTシャツと言われたけど、白いTシャツが無いです」など、色んな質問があると思います。「それはこうしていいですよ」「縞々でもいいですよ」などと書いて、保護者さんにきちんと答えて返したところをコピーして残しておいた方がいいです。何も中身が無いより、どう対応しているかを残しておく、監査の時にも答えられるので綴っておいた方がいいと思います。

それから、チャイルドケアシステムとは、なんでしょうか？

(事務長) 保護者様側が使用するところでは、園児の登降園の記録、お休みの理由の入力、それからお迎えの人が変わる、遅れるというメールでの連絡など。職員側ですとシフト作成、出勤退勤の管理、年間・月間・週間・個人の保育計画を入力する為のシステムがあり、クラウド上に保管ができます。うちの園では、普段の保育にはiPadを5台使って、各保育室で体温の記録や、午睡チェック(どっち向きで寝ていた、何時に寝て何時に起きたなど)を全て記録して、クラウド上に保存し、いつでもデータを確認できるようにしています。常勤の職員はパソコンを一人一台貸与し、非常勤職員さんもiPadを使用して、クラウド上に記録を入力・確認できるようにしています。

(園長) とてもいいと思うのは、一つの指導計画に色んな先生方が「あの子はどうだった」「こういう場面があった」とそれぞれが入力して、1枚を作り上げていけるところです。保育日誌も、非常勤の先生方がそれを見ながら「じゃあ明日はこうしようか」という風に休憩中にお茶を飲みながら見たり、「私がこの場にいたら・どうしたら良かったかな」と話が弾んだりしています。

(小田中先生) 共通の認識が大事ですよ。

(事務長) システムの中には個人情報も入っています。親御さんの連絡先・ご住所・罹患歴・アレルギーなど。通常保育で使用しているiPadは、本園のWi-Fiを使っているのですが、園外に持っていくとWi-Fi環境がないと繋げないですし、保育士さんたちにはチャイルドケアのURLは教えていないので、園外ではアクセスは出来ません。私個人のタブレットだけはシステムを入れております。避難訓練や、火災・台風の際に持ち出して、非常時にはすぐ親御さんに連絡できるようにするためです。紛失には十分に気を付けております。

(三上副会長) ヒヤリハットの話が続きますが、以前勤めていた会社は人命に関わる仕事をしていたので、ヒヤリハットなど業務改善のために記録に残す事を徹底していた会社でした。ヒヤリハットは個人の感覚というものがあります。自分が危険と感じるか感じないかは個人差があるので、事例を拾い集める事が大事です。実際に危険個所があった、こうした方がもっと仕事が捗るなど、業務改善を記録に残します。そして改善前と改善後を記録に残

す。危険個所があれば、なぜ改善したのか、こういうところをこう改善して安全になりましたと記録に残すことで、皆で情報の共有が出来る。私が見て危険だと思わないかもしれないが、第三者が見れば危険だと思うかもしれない。そういう情報のすり合わせができます。それが積み重なると、新入社員が入った時にそれを見ることで、これは危険なんだ、こういう風にすればもっと良く出来るんだという資料になるので、積み重ねがすごく大事です。

まだ1年目の保育園なので、今後2年、3年と重ねていった時、その積み重ねが宝になります。記録は簡単で良いのです。写真を撮るだけでも違ってきます。実際、先生一人で改善を頑張っていることを、一人一人が出来るようになれば気付きが増えていくと思います。

前の会社の社長に『『気付く』というスキルを個人が養いなさい。どんなことでもいいから、月に1つ気付く事が大事』と言われました。「花が綺麗でした」でも良いから、何かに気付くことが大事。ゴミが一つ落ちていても、気付く人と気付かない人がいるように、感覚を持ちなさいとすごく指導されていました。今は会社が変わりましたが、今の会社に入ってもそれはやっつけて良かったと思います。

あとは教育方針として、食育にすごく助けられています。家が農家ではないので、どういう風に野菜ができるのか子供達は知りません。スーパーに行けば季節問わず野菜が手に入ってしまうので、夏になったらトマトができる、きゅうりができるというような旬が分からない。春になったらこれができる、秋になったらこれができるという、収穫する喜びを身近に体験できるのがありがたいです。

(事務長) ご感想ご意見ありがとうございます。資料に目を通していただき、また何かありましたら宜しく申し上げます。では、「後期に向けて」に移ります。園長先生から申し上げます。

(園長) 今回、皆さんからたくさんご意見ご感想をいただき、私たちのパワーにしていきたいと思っています。後期の経営・運営の方向付けに職員と練っていききたいと思います。すぐ出来そうなアドバイスもいただきましたので、すぐ活かしていきたいと思っています。ありがとうございます。

今年の12月後半、発表会が終わった後に、保護者の方にアンケートに答えていただき、そちらも園経営・運営の参考にさせていただきたいと考えております。園務分掌の自己評価をまた年度末に行い、この一年度の締めをして、また次年度に活かせるような方向付けをしていきたいと思っています。これからも忌憚のないご意見をいただければと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

(事務長) それでは「その他」に移ります。皆様からご質問ご意見ありましたらお願いします。

(三上副会長) 発表会はいつでしょうか？

(園長) 発表会は12月です。年間計画では、土曜日の1日と考えておりましたが、新型コロナウイルスの関係もあり密にならないよう、学年で土日の2日間に分けて開催したいと思っています。

どこか場所を借りるのではなく、園のホールで、密にならないよう、進め方を一生懸命練っているところです。運動会を見に来られなかったおじいちゃんおばあちゃんも出来れば入れるように、なんとかしたいと考えているところですが、本当に心苦しいです。

(佐藤副会長) ちなみに花巻小学校の発表会はオンラインになりました。子供たちが第一体育館で発表会をしているのを撮影して、親はQRコードにログインして見る。見られない方・オンライン環境が無い方は第二体育館に用意するので、そこに行って見るという形で開催するようです。

(園長) 色々な工夫が必要ですね。

(佐藤副会長) YouTube にあげるくらいのものであれば、一万円くらいのカメラで撮れます。そうするといつでも見れますし、記録にも残せます。

(園長) 記録をとるという意味も考えて、運動会の際はビデオ撮影を業者の方に頼みました。開園記念としてCDに焼き付けて、皆さんにお配りできたらいいなと考えています。おじいちゃんおばあちゃんはフェンスの向こう側で見てくださっていた方もいたので、とても切なかったです。

(事務長) 9月20日に運動会を開催して、プロの方に来ていただき3台でカメラ撮影をし、現在編集作業中です。2～3週間で受取の予定でしたが、予定期日より延びています。

写真は既にデータが来ています。映像のデータと写真のデータを合わせて1枚のDVDにして、皆さんにお渡ししたいと考えています。明日、親子遠足があるので前回来ていただいた、写真館の方に親子遠足中の写真も撮影していただくことになっています。そちらも先程と同じディスクに、1枚にするかどうかは検討中ですが、データとして作成する予定です。運動会だけですと、「0・1歳児には無いのか」という不公平感が生まれてしまいますので、分け隔てなくお渡しするため、皆さん1枚ずつお渡しすることを検討しております。出来上がりましたらすぐお渡ししたいと思っております。ホームページ上でもアップしたいと考えておりますので、もう少しお待ちください。

他にございませんでしょうか。

以上をもちまして令和2年度みどりの保育園 運営委員会を閉じさせていただきます。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。